

GIAエントリー終了



GUNMA
INNOVATION
AWARD
2021

応募総数548件

12月に公開最終審査

今年で9回目となる
起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード（GIA）2021」のエントリーが締め切られ、事務局は17日、総数が前年比58件減の548件になったと発表した。高校生からの応募が減っ

たが、全体のエントリー数は過去2番目に多い。身の回りの社会課題に対し、情報技術（IT）やデジタルトランスフォーメーション（DX）で解決を図ろうとする事業案が多く寄せられた。

起業や第二創業を目指す「ビジネスプラン部門」のうち、高校生の部は56件減の440件だった。大学生・専門学校生の部は5件減の40件、一般の部は2件増の44件となった。

創業5年未満の起業家が対象の「スタートアップ部門」は3件増の15件、創業5年以上の事業者を対象にした「イノベーション部門」は2件減の9件だった。

新型コロナウイルス禍で打撃を受ける飲食業や観光業をテーマに据えたプランや、激甚化する自然災害を前に防災に着目した事業計画が目立った。

プロジェクトを支援する金融機関「フィナンシャルサポーター」らが1次書類審査を担う。2次プレゼンテーション審査（10月23日、上毛新聞社）でファイナリストを選出し、ファイナルステージ（12月5日、ヤマダグリーンドーム前橋）で公開最終審査を行う。

GIAは上毛新聞社が主催、田中仁財団が共催。「群を抜け。」のキャッチフレーズを掲げている。ジンスポールディングス、コシダカホールディングス、相模屋食料、オーブンハウス、セガサミホールディングスの経営者らでつくる実行委員会が中心となり、実施している。

（丸山卓郎）